

ショックセンサー(504D)取付説明書

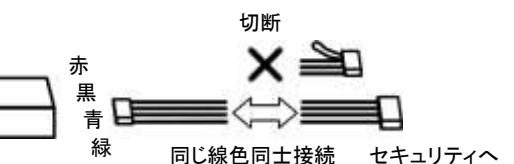
201217

【重要】

- ・車両の盗難・破損等や誤配線による車両や本製品の破損につきましては、一切責を負えませんのでご了承下さい。
- ・各センサーは防水処理はしていませんので、必ず車内に設置していただき、水濡れに注意して下さい。
- ・必ず感度調整を行って下さい。調整を行わなかった場合、誤作動の原因となります。

■ 配線方法（ソニックスタートやスマートガードに接続する場合）※マーベラスは、CN3を使用してカプラーON接続できます。

1. センサーに付属している4ピンのハーネスの緑線がループしている方のコネクタを切断します。



2. 当社セキュリティのセンサーハーネスに同色の線同士を接続します。
センサーが複数ある場合は、それぞれ同色の線を並列に接続します。
3. センサーとセキュリティにそれぞれコネクタを接続します。

【参考】

- ・センサーを個別で〇にしたい場合は、赤線の途中にスイッチを入れて下さい。



■ 設置方法例

- ・車両の太いハーネスにインシュロック等で固定
- ・車両のフレームに両面テープで固定

【参考】

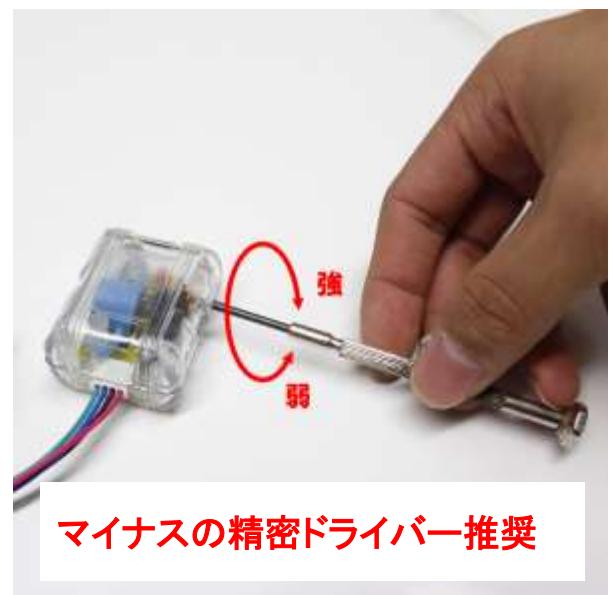
- ・適切な位置は車両によって異なります。

■ 感度調整方法

1. 車両のピラーやタイヤに衝撃を与え、警告・警報が鳴るかを確認して下さい。
2. 感度が弱い(強い)場合は、右の写真のようにドライバーで側面の橙色ボリュームを回して調整して下さい。

【注意】

- ・ボリュームは弱い力で少しづつ回して下さい。
- ・センサーは、一度衝撃を検知すると、その衝撃が収まってからしばらくしないと再検知しません。5秒程度間隔を開けながら確認して下さい。
- ・感度を強くしすぎると、逆に反応しにくくなります。適切な感度に調整して下さい。



■ トラブルシューティング

- ・センサーに直接衝撃を与えて、センサー内部のLEDも点灯しない。
→ 赤線・黒線の結線不良
- ・強い衝撃を与えて警告しか鳴らない。
→ 青線の結線不良または感度が弱い
- ・警告の音が鳴らずに、警報になってしまい。
→ 緑線の結線不良または感度が強い